

# 編修趣意書

## 教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-211	小学校	道徳科	道徳	第5学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 514	道徳 5 きみが いちばん ひかるとき		

## ▶ 1. 編修の基本方針

# これからの時代を生き抜く 子どもたちのために。

人格の完成を旨とする教育基本法に基づき、

これからの学校には、一人一人の児童が、

- ・自分のよさや可能性を認める
  - ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
  - ・多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越える
  - ・豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる
- ことが求められています。

私たちは、これらの実現を旨として、3つの方針に則って教科書を編修しました。



特色

1

## 主体的な学びを支える

...

主体的に学びに向かうことができるよう、道徳科は何を学ぶ教科なのかを、一人一人がしっかりと自覚できるようにしました。また、1年間の学びを見渡し、どのように学ばよいかを、丁寧に示しました。



特色

2

## 対話から生まれる「気づき」を楽しむ

...

道徳的価値に関わる話題で話し合うことは楽しいと実感できるように、普段から、道徳的な話題で話し合い活動に取り組んでみようと誘いました。対話を重ねることで、新たな考えに気づき、自分を見つめられるように工夫しました。



特色

3

## 現代的な課題と向き合う心を育む

...

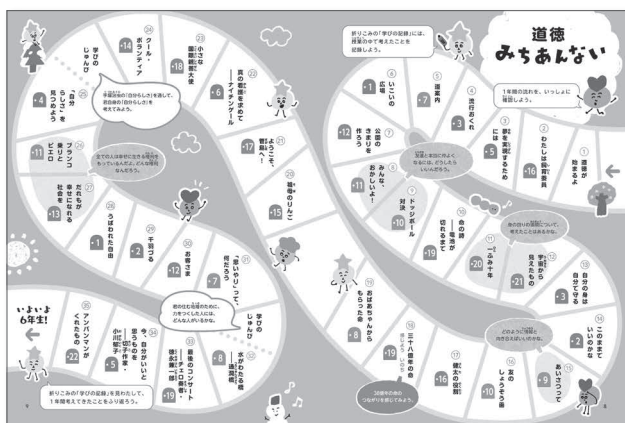
現代的な課題と道徳の学びを結び付けられるようにしました。これからの時代を生き抜いていく児童が、現実にある課題を意識し、自分の生き方と関わらせながら、考えを深めることができます。

# 特色 1 主体的な学びを支える

## ✓ 第1教材 「①道徳が始まるよ」

### 何を学ぶのかがわかる

- ・第1教材では、これから1年間、道徳科で何を学んでいくのかをはっきりと意識できるように示しました。
- ・22の内容項目を、22のとびらになぞらえ紹介しました。各教材の冒頭に、内容項目をとびらのマークと共に提示することで、今日の1時間には、何について考えるのかを自覚できます。
- ・「道徳みちあんない」では、学びの期待感をもって1年間の学びを見通せるような紙面としました。このページで、ユニット(p.4参照)の位置や、事前に学習しておくことが有効な教材について、確認することができます。



p.8-9



p.4-5

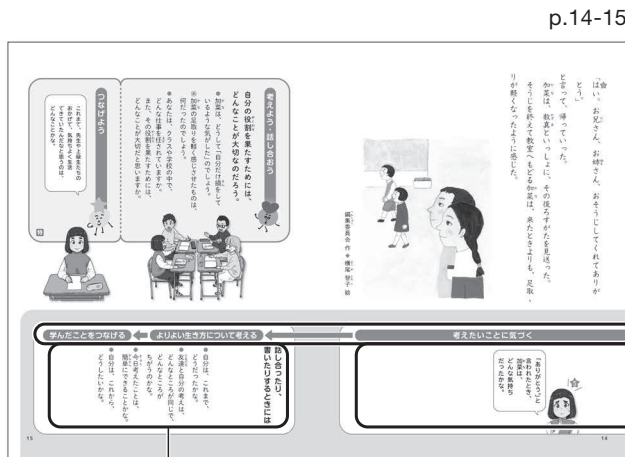


教材冒頭に、内容項目のとびらを提示しています。

## ✓ 第2教材 「②わたしは飼育委員」

### どうやって学ぶのかがわかる

- ・第2教材では、教材に沿って、道徳の学び方を示しました。教材と向き合ったとき、思わず生まれる問いを大切に、教材との対話、他者との対話、自分との対話が意識できるように示しています。また、「考えたいことに気づく」「よりよい生き方について考える」「学んだことをつなげる」という、学びのステップも示しています。



p.14-15



p.10-11

他者との対話、自分との対話

教材との対話

学びのステップ

## ✓ みんなで気持ちよく話し合うためのこつ

### 相手の考えを丁寧に受け止める

- ・多様な他者と対話することで、初めて気づけることがあります。広がる世界があります。その対話を円滑に進めるための取り組み方を示しました。
- ・第1教材の中で、「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を紹介しています。この「こつ」では、相手の存在や意見を受け止めることに重点を置いています。この「こつ」を試しながら、「やってみよう」に挑戦します。気持ちよくみんなで話し合うことで、新たな「気づき」が生まれることを知り、道徳科の学びをスタートすることができます。



p.6-7 「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」

## ✓ 「考える」じゅんぴたいそう

### 問い合うことの楽しさを味わう

- ・4月に、みんなで気持ちよく話し合う「こつ」を意識した児童が、9月に『考える』じゅんぴたいそうに出会います。普段から対話の楽しさを味わえるような機会をつくろうという試みです。
- ・ここでは、話し合いながら道徳的価値についての考えを深めていくための、対話の練習を促しています。さまざまなテーマを巡って、互いの考えを理解し合おうとする過程を積み重ねることで、問い合うことの楽しさを味わってもらいたいと願っています。
- ・日々の生活の中で取り組むことで、児童の話し合いに対する意識が変わっていくことをねらっています。



p.70-71 『考える』じゅんぴたいそう

## ✓ 「思いやり」って、何だろう

### 哲学的な対話を楽しむ

- ・1学期、2学期と、対話を積み重ねてきた児童が、3学期になって、『思いやり』って、何だろう」という、物事の本質を対話によって捉えようとする活動に取り組みます。
- ・道徳的価値や振る舞いについての受け止め方は、一人一人違います。例えば「思いやり」とは何かについて、お互いに突き詰め、「これなら納得できる」という共通理解を見いだすことは、他者と協働しながら、よりよい方向を目指す資質・能力へとつながると考えました。



p.164-165 ③『思いやり』って、何だろう



✓ 「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」

ユニットで、テーマを探求する

- ・現代的な課題として重要とされる「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の4つのテーマを取り上げ、教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を構成しました。
- ・コラムでは、課題を自分のこととして受け止め、自己の生き方についての考えを深められるよう配慮しました。



▶ 2. 上記の記載事項以外に意を用いた点や特色

全ての児童にとって使いやすく、わかりやすく

特別支援教育への配慮

- ・教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の観点から、専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。
- ・必要に応じて、挿絵に登場人物の名前を添えることで、挿絵に描かれた人物が、本文にあるどの登場人物を表しているのか、わかりやすくしました。

人権上の配慮

- ・教科書全体において、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別の偏りがなく、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、記述には十分配慮しています。また、人権教育の専門家に全面的な校閲をお願いしました。

学習上の配慮

[判型について]

- ・B5判より横幅を10ミリ広くすることで、持ち運びや

すいサイズのまま、文字や挿絵を大きく示しています。児童の負担を最小限におさえるよう配慮しました。

[文字について]

- ・文字の大きさは、発達の段階、教材の内容によって、十分に配慮しました。
- ・本文は、ユニバーサルデザインにも配慮した、オリジナルの教科書体活字を用いました。

[表記について]

- ・当該学年の配当漢字には、全て振り仮名を付しました。
- ・読みの負担を軽減するため、熟語の混ぜ書きを極力避けました。そのため、当該学年より上の学年の配当漢字が掲出される場合には、その全ての漢字に、振り仮名を付しました。

[文章の区切りについて]

- ・てびきの問いは、意味のまとまりで改行することで、児童が問われていることの意味をつかみやすくなりました。

### ▶ 3. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁
教材	巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった児童へのメッセージを掲載した。	第一号、第二号	表2-1
	1 道徳が始まるよ	真理を求める態度を養い、互いの価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、道徳の時間に行うさまざまな活動や学びを紹介する中で、疑問を追求していく態度や、他者を尊重しながら意見交流すること、自分自身を見つめることの重要性を感じることができるような教材を配置した。	第一号、第二号	4-9
	19 おばあちゃんからもらった命	豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	101-105
	20 祖母のりんご			106-109
	35 アンパンマンがくれたもの			183-187
	3 夢を実現するためには	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	16-19
	22 真の看護を求めて——ナイチンゲール			115-119
	25 「自分らしさ」を見つめよう			128-132
	34 今、自分がいいと思うものを——切子作家・小川郁子			178-182
	4 流行おくれ			他者との関わりの中で、自己を見つめ、自主及び自律の精神を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。
	6 いこいの広場	28-31		
	14 このままでいいのかな	77-79		
	17 健太の役割	91-93		
	28 うばわれた自由	148-153		
	29 千羽づる	154-159		
	2 わたしは飼育委員	自身の生活と社会との関連を意識しながら、社会に奉仕し働くことを尊ぶとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号、第三号	10-15
	5 道案内			24-27
	7 公園のきまりを作ろう			33-35
	24 クール・ボランティア			124-127
	32 水がわたる橋——通潤橋			166-172
	8 みんな、おかしきよ!	他者との関わりの中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第三号	38-42
	9 ドッジボール対決			43-47
	15 あいさつって			80-83
	16 友のしょうぞう画			86-90
	26 ブランコ乗りとピエロ			133-139
	27 だれもが幸せになれる社会を			140-145
	30 お客さま			160-163
	31 「思いやり」って、何だろう			164-165
	10 命の詩——電池が切れるまで	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第四号	50-53
	11 一ふみ十年			54-60
	12 宇宙から見えたもの			61-67
	13 自分の身は自分で守る			72-76
	18 三十八億年の命			96-99
	33 最後のコンサート——チェロ奏者・徳永兼一郎			173-177
21 ようこそ、菅島へ!	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第五号	110-114	
23 小さな国際親善大使			120-123	
特設ページ	〈心を通わそう〉 相手のことを思いやって言葉をかけよう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、互いの価値を尊重しながら温かい人間関係が築けるようなページを設けた。	第一号、第二号	36-37
	「考える」じゅんぴたいそう	さまざまなテーマを基に、他者を尊重しながら意見を交流し、真理を求める態度を養い、互いの価値を尊重していく能力を伸ばすことができるような、対話活動のページを設けた。	第一号、第二号	70-71
	なんだろう なんだろう	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるようなページを設けた。	第一号	94-95
	感じよう いのち	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切にすることを培うことができるようなページを設けた。	第四号	100
	〈付録〉 日本各地で取り組む「防災活動」	教材と関連して、幅広い知識を身に付け、生命を尊び、健やかな身体と郷土の保全に寄与する態度が養える内容を付録として設けた。	第五号	190-191
	学びの記録	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返り、記録するページを設けた。	第二号	折り込み

# 編修趣意書

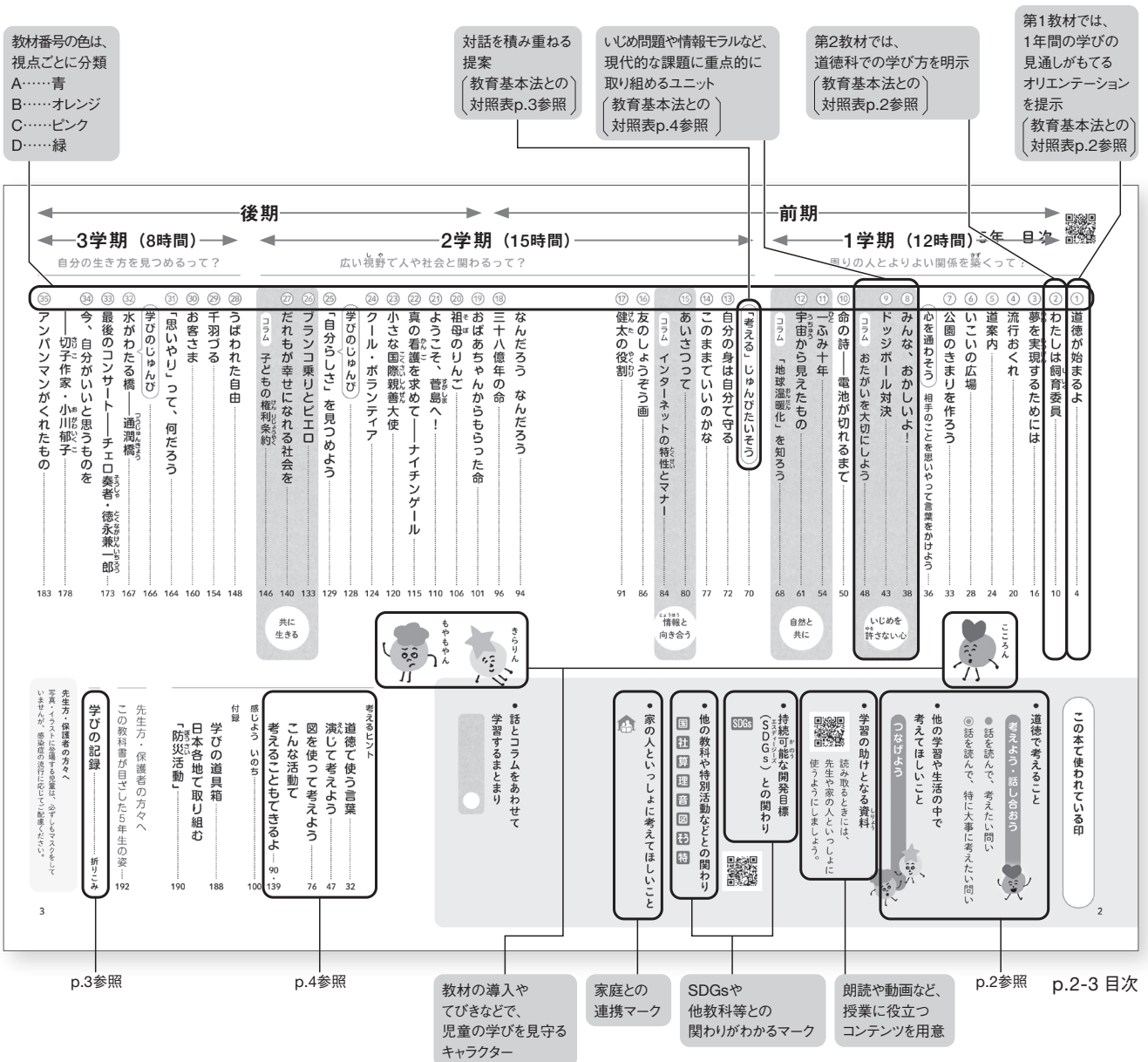
## 学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-211	小学校	道徳科	道徳	第5学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	道徳 514	道徳 5 きみがいちばん ひかるとき		

### ▶ 1. 編修上特に意を用いた点や特色

## 特色 1 児童が主体的に道徳性を養うことができる年間構成

児童の発達の段階や内容項目の特質に鑑み、1年間の学びを通じて、児童が着実に道徳性を養えるような構成を目指しました。



教材には、1時間の学びの道筋を示した「てびき」を用意し、ユニバーサルデザインや特別支援教育などの観点から、見やすく読みやすい紙面にしました。

著作者を明示し、著作権についての意識づけを図ります

環境に配慮した紙に、植物性インキを用いて印刷しています

本文は、ユニバーサルデザインにも配慮したオリジナルの教科書体活字を採用しています

形と色で判別できる視点マーク



「ようかしまし  
おばあさんは、  
青葉町に行き  
青葉町なら、  
青葉町のどこ  
「たしか、郵便  
ンだとか」  
「ああ、それな  
を左に曲がり  
カーブミラー  
すると、木村  
「そんなじゃ  
そう言っ  
いた。  
「それじゃ、気  
木村くんがそ

5 道案内

読みの負担に配慮し、ルビは当該学年配当漢字全てに付しています



山口理作 ◆ハラアツシ 絵

三人組は、おばあさんといっしょにゆっくりと歩きました。  
その後ろすがたを見て、木村くんがぼつりと言った。  
「ぼくたち、少し足りなかったのかな」  
「えっ、何が？」  
ぼくは、木村くんの横顔をじっと見た。

今日は土曜日。ぼくは、友達の木村くんといっしょに、ホームセンターへ行って来た。ぼくと木村くんは、ジオラマ製作という、共通のしゅみをもっている。そのジオラマ製作に使う材料を買ってきたところだ。  
「よかったな、必要な物が全部そろって」。  
二人で話をしながら歩いていると、公園の前で、一人のおばあさんが、ぼくの視界に入った。重そうに荷物を持って、辺りをきよろきよろ見回している。ぼくたちは、思わず顔を見合わせた。  
「こまっているみたいだな。行ってみようか」。  
ぼくと木村くんは、おばあさんのもとへ、小走りに近づいた。



※ジオラマ製作：人物や物などを組み合わせて、ある場面を表した立体的な模型を作ること。



「ぼく、おばあさんに見えなかったのかな」

7 相手の立場に立って、疑問にする



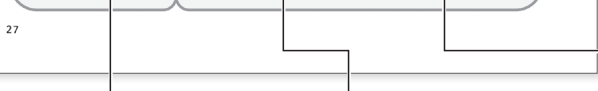
24

考えよう・話し合おう

親切な行いをするとき、大切なことは、何だろう。

- やつぱり、いいことをした後は、気持ちがいいなあ」とうなずき合ったとき、「ぼく」と木村くんは、どんなことを考えていたでしょう。
- ぼくたち、少し足りなかったのかな」と言ったとき、木村くんは、どんなことを考えていたでしょう。

● 親切な行いをするとき大切なことは、どんなことだと思いますか。



タイトル回りとしてびきは、視点の色で統一しました

B5判を10ミリ横に広げたサイズで、文字やイラストを大きく示しました

本時の内容項目を、平易な言葉で示しました

キャラクター「こころん」が、児童を教材に誘います

二次元コードの横には、デジタルコンテンツの内容を示しました

キャラクター「きらりん」や「もやもやん」が、児童の生活と学びをつなげます

めあてに迫るために、特に考えてほしい問いには、◎(二重丸)を付しました

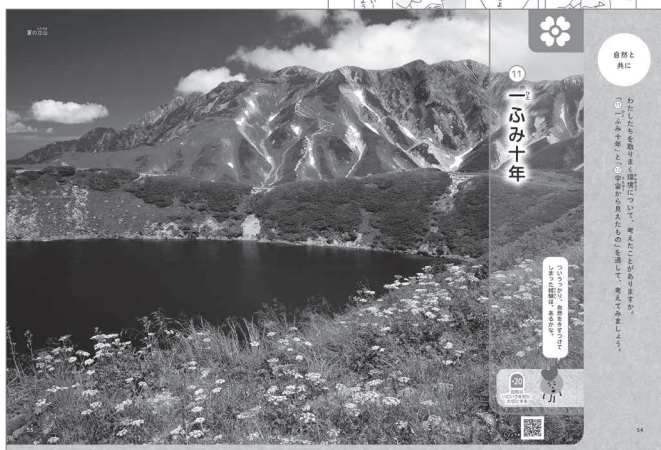
児童が、教材を通して何について考えるのかがわかるよう、学びのめあてを太字で示しました



✓ 児童一人一人の道徳的な価値観を耕し広げる教材群

・児童の心にストレートに飛び込む読み物教材、漫画や写真を主とした教材など、児童が多面的・多角的に考えられる多様な教材を用意しました。

p.54-60 「⑪一ふみ十年」



p.16-19 「③夢を実現するためには」

p.154-159 「㉔千羽づる」

✓ 1時間ごとの振り返りを記録し、1年の学びを振り返る

・巻末の折り込みには、一言感想を書く活動を通して1時間ごとの学びを振り返るシートを用意しました。1年間の学びが1枚で見渡せ、児童自身はもちろん、先生や保護者も児童の成長や変化を確認することができます。

35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	回
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	月/日	
																																		教材番号	
																												組名							
																												一言感想							

**学びの記録**

※ 道徳の授業の中で考えたこと、左の一言感想の欄に記入してください。

※ 表の上の数字(35)の観点について、進捗はまる(○)または、丸の半分を付すように。

自分のこととして考えることができた。

高徳の考えを聞いて、自分の考えが深まった。

もっと考えたい、やってみなうたが見つかった。

巻末 折り込み「学びの記録」



多様な学習活動で児童の学びを深める「考えるヒント」

・深い学びへと誘うために、さまざまな学習活動を提案し、豊かな学びにつなげられるように工夫しました。

話し合いで役に立つ言葉の紹介



p.32 「道徳で使う言葉」

役割演技の提案



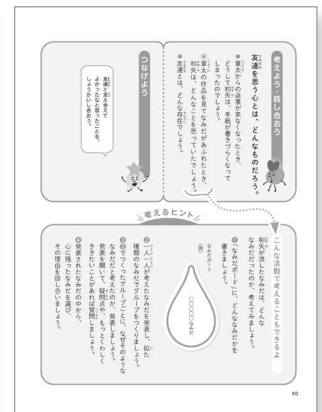
p.47 「演じて考えよう」

思考ツールを活用する提案



p.76 「図を使って考えよう」

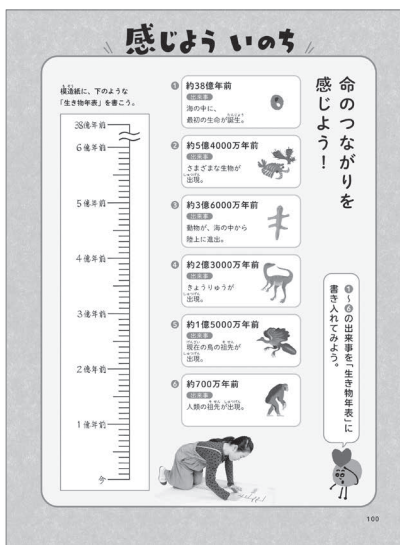
カードを使った交流の提案



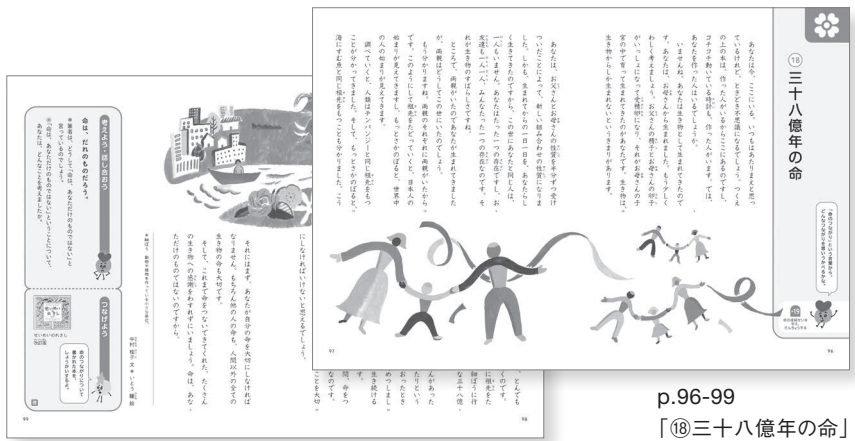
p.90 「こんな活動で考えることもできるよ」

自分に引き寄せて考えることができる「感じよういのち」

・「生命の尊さ」に重点を置き、1年間に3つの教材を用意しています。その中の1つに、児童が、生命の尊さを実感できるような活動として、「感じよういのち」を提案しています。



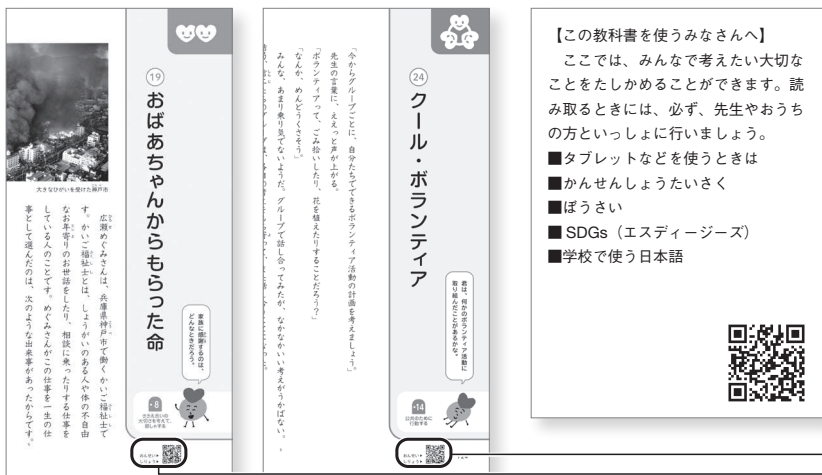
p.100 「感じよう いのち」



p.96-99 「⑮三十八億年の命」

児童の思考を広げ深めるデジタルコンテンツ

表4



p.101-105 「⑱おばあちゃんからもらった命」

p.124-127 「㉔クール・ボランティア」

・二次元コードが付してある教材には、授業の中で活用できる動画などの資料や、臨場感あふれる朗読など、児童が興味、関心をもって視聴できるコンテンツを用意しています。また、家庭との連携の観点から、新しい生活様式や防災、SDGsに関することなど、他教科や日常生活にも関連するコンテンツを併せて用意しています。

「⑱おばあちゃんからもらった命」では、阪神・淡路大震災の様子がわかる写真を、「㉔クール・ボランティア」では、さまざまなボランティアの写真を、参照することができます

## ▶ 2. 対照表

図書の内容	学習指導要領の内容				該当頁	配当 時数	配当 学期	
	視点※1							
	A	B	C	D				
巻頭詩					表2-1			
周りの人とよりよい関係を築くって？	1 道徳が始まるよ	○	○	○	○	内容項目を限定しない	4-9	1
	2 わたしは飼育委員			○		よりよい学校生活、集団生活の充実	10-15	1
	3 夢を実現するためには	○				希望と勇気、努力と強い意志	16-19	1
	4 流行おくれ	○				節度、節制	20-23	1
	5 道案内		○			親切、思いやり	24-27	1
	6 いこいの広場 道徳で使う言葉	○				善悪の判断、自律、自由と責任	28-31	1
	7 公園のきまりを作ろう 〈心を通わそう〉相手のことを思いやって言葉をかけよう ※2			○		規則の尊重	33-35	1
	8 みんな、おかしいよ！		○			親切、思いやり／相互理解、寛容	36-37	1
	9 ドッジボール対決 〈コラム〉おたがいを大切にしよう		○	○		相互理解、寛容	38-42	1
	10 命の詩——電池が切れるまで ※2				○	友情、信頼	43-47	1
広い視野で人や社会と関わるって？	11 一ふみ十年				○	友情、信頼／相互理解、寛容／よりよい学校生活、集団生活の充実	48-49	1
	12 宇宙から見えたもの 〈コラム〉「地球温暖化」を知ろう	○			○	生命の尊さ	50-53	1
	13 「考える」じゅんびたいそう	○	○	○	○	自然愛護	54-60	1
	14 自分自身は自分で守る	○				感動、畏敬の念	61-67	1
	15 このままでいいのかな ※2	○				節度、節制／自然愛護／感動、畏敬の念	68-69	1
	16 あいさつって 〈コラム〉インターネットの特性とマナー		○			礼儀	80-83	1
	17 友のしょうぞう画	○	○	○	○	善悪の判断、自律、自由と責任／礼儀／相互理解、寛容	84-85	1
	18 健太の役割 なんだろう なんだろう				○	友情、信頼	86-90	1
	19 三十八億年の命 感じよう いのち				○	よりよい学校生活、集団生活の充実	91-93	1
	20 友のしょうぞう画 なんだろう なんだろう				○	よりよく生きる喜び	94-95	1
自分の生き方を見つめるって？	21 三十八億年の命 感じよう いのち				○	生命の尊さ	96-99	1
	22 100				○	生命の尊さ	100	1
	23 101-105	○				感謝	101-105	1
	24 106-109		○			家族愛、家庭生活の充実	106-109	1
	25 110-114			○		伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	110-114	1
	26 115-119	○				真理の探究	115-119	1
	27 120-123			○		国際理解、国際親善	120-123	1
	28 124-127			○		勤労、公共の精神	124-127	1
	29 128					個性の伸長	128	1
	30 129-132	○				相互理解、寛容	129-132	1
自分の生き方を見つめるって？	31 133-139		○			相互理解、寛容	133-139	1
	32 140-145			○		公正、公平、社会正義	140-145	1
	33 146-147		○	○		相互理解、寛容／規則の尊重／公正、公平、社会正義	146-147	1
	34 148-153	○				善悪の判断、自律、自由と責任	148-153	1
	35 154-159	○				正直、誠実	154-159	1
	36 160-163			○		規則の尊重	160-163	1
	37 164-165		○			親切、思いやり	164-165	1
	38 166			○		感謝	166	1
	39 167-172				○	生命の尊さ	167-172	1
	40 173-177				○	希望と勇気、努力と強い意志	173-177	1
31 178-182	○				希望と勇気、努力と強い意志	178-182	1	
32 183-187				○	よりよく生きる喜び	183-187	1	
〈付録〉 学びの道具箱	○	○	○	○	内容項目を限定しない	188-189		適宜
〈付録〉 日本各地で取り組む「防災活動」	○			○	節度、節制／生命の尊さ	190-191		適宜
合計時数						35		

※1 視点の内容 A：主として自分自身に関する事 B：主として人との関わりに関する事 C：主として集団や社会との関わりに関する事 D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

※2  はユニット構成となっていることを示す。